

取扱説明書 Ver 1.00

FES-652

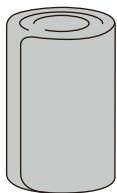
ランドブリーズ Pro.air DUO



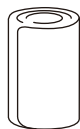
このたびはスノーピーク製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この製品はキャンプ用のテントです。安全にご使用いただくためにも必ずこの取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。製品には万全を期しておりますが、フィールドでご使用する前に安全な場所で組立、取扱い方法及び付属品の確認をしてください。説明内容で理解できない点及び製品に不具合が確認された際には、直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

セット内容

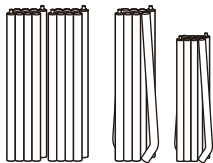
セット内容は一般的な条件下での設営を基本としたものです。頑丈で長めのペグや、ロープなどを用意されると、柔軟な対応が可能となります。ペグやロープ、自在などは消耗品ですので、常に予備を携行することをお勧めします。



フライシート×1



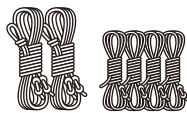
インナーテント×1



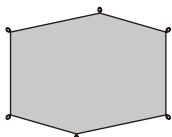
ダブルクロスフレーム×2
センターフレーム×1
前室フレーム×1



ジュラルミンペグ
(17cm×16)



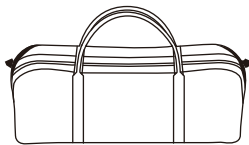
自在付ロープ
(二又用4m×2、2m×4)



グラウンドシート



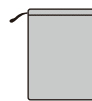
リペアパイプ×1



キャリーバッグ×1



フレームケース×1

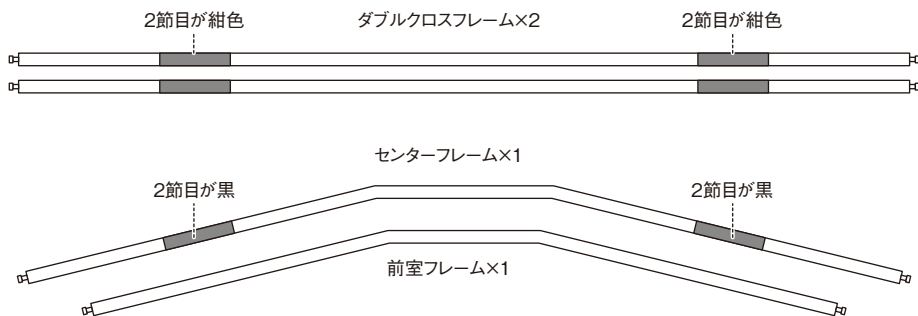


ペグケース×1



取扱説明書
(本書)×1

フレーム構成



安全上の注意事項 ご使用前によく読んで予測される事故を回避し安全にご使用ください。

⚠ 危険 明らかに生命にかかわる重大な事故が予測される行為を示します。

- このテントの素材は難燃性ではありません。テント内では燃烧式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ローソク、ライター、タバコなどの裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災や酸欠、一酸化中毒などの恐れがあり大変危険です。
- テント内で燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。



⚠ 警告 場合により重大な事故に至る行為を示します。

- 気象状況には常に細心の注意を払い、風の強い時や悪天候が予想されるときは速やかに撤収して安全な場所へ避難してください。
- 高温に加熱されたものや発熱性のあるものを持ち込まないでください。火災や熱中症などの危険があります。
- 天候によりテント内は高温になり、熱中症などの危険があります。お子様の昼寝の際など、細心の注意を払ってください。
- 風の吹き抜けるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な洪水や氾濫などの恐れのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設営してください。



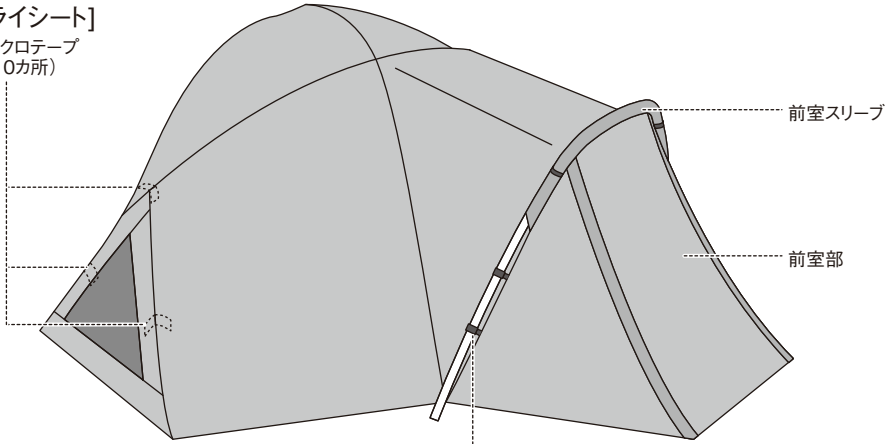
⚠ 注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

- 本製品は常設用ではありません。テントの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- 日差しによりテントの表面は低温やけどに発展するほどの高温になります。十分にご注意ください。
- 焚火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。設営・撤収の際には、周囲に火気がないことを確認してください。火の粉を被り、生地に穴を開けてしまう場合があります。
- 樹液が付着するときれいに除去することができません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設営してください。シンナーやベンジン等の有機溶剤により無理に除去しようとすると生地やコーティングを痛めてしまいますのでおやめください。
- テントの設営・撤収の際は、風に飛ばされないよう生地とフレームをしっかりと支えて作業してください。フレーム先端のハネ返り等で思わぬ事故に繋がる恐れがありますので、必ず周囲の安全を確認して作業してください。
- ペグとロープでしっかりとテントを固定してください。
- 薄い生地を使用していますので、生地を引っ張りすぎると破損する恐れがあります。ご注意ください。
- 足もとのロープやペグ等にはご注意ください。足を引っ掛けて転倒し、思わぬ事故の原因となります。
- インナーテント内には小物を吊るすループが付いています。1kgを超えない範囲でご使用ください。

各部の名称

[フライシート]

ベルクロテープ
(全10カ所)



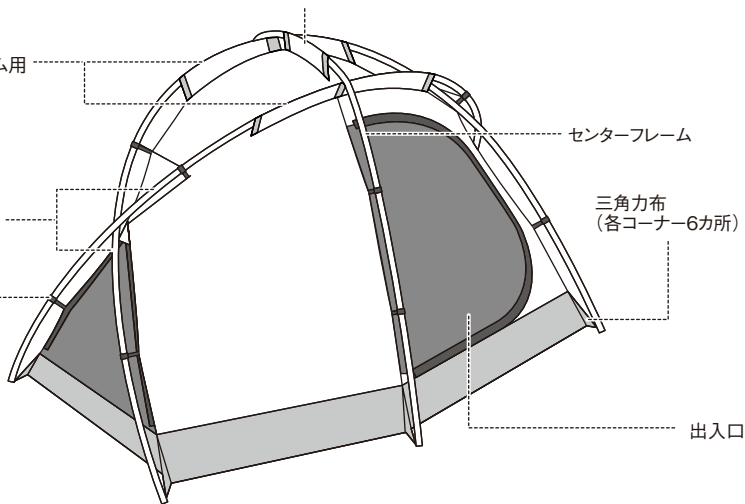
[インナーテント]

センターフレーム用スリーブ

ダブルクロスフレーム用
スリーブ

ダブルクロスフレーム

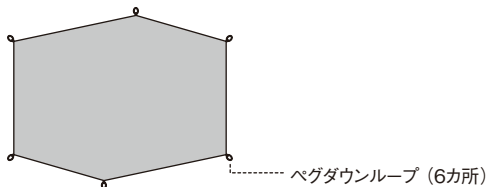
プラスチックフック
(全16カ所)



インナーテント内のコーナーテープやパネルの構成は前後で対称になっています。
テント室内には小物を吊るすループが付いています。1kgを超えない範囲でご使用ください。

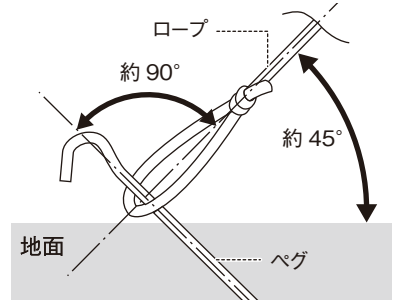
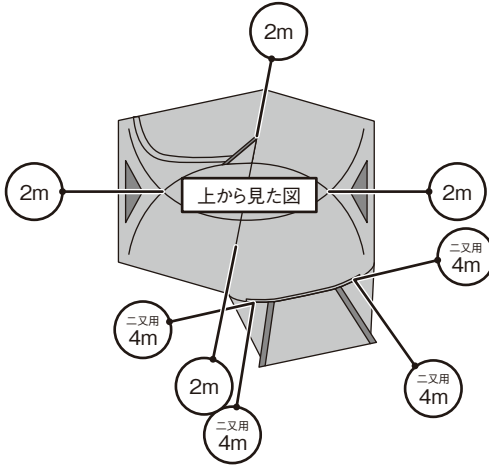
[グラウンドシート]

本体



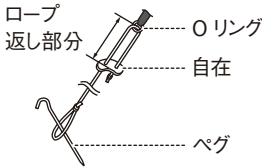
自在付ロープのフライシートへの取り付け、ペグダウンの位置

自在付ロープのフライシートへの取り付け、ペグダウンは下図のように行ってください。



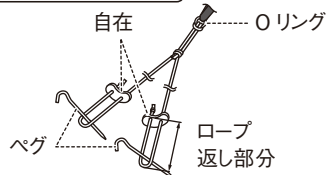
ペグダウンはテントからできるだけ遠くに行ってください。設置したとき、ロープの角度が地面に対して約45°となるのが理想的なペグダウンの位置です。また、ペグを打ち込む角度はロープに対して90°になるようにペグダウンしてください。

シングルロープの取り付け



ロープの自在が付いている返し部分がOリング側に来るように取り付けてください。

二又用ロープの取り付け

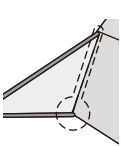


中間の結び目をOリングに通し返し部分がペグ側に来るように取り付けてください。

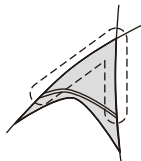
使用前の準備

1. シームシーリング剤による目止め

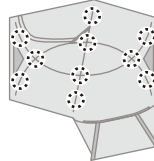
※本品にシームシーリング剤は付属していません。ご使用の際は、市販のシームシーリング剤をお買い求めください。縫製部分にはシームテープによる防水処理が施してありますが、フライシートのベンチレーター部やファスナー部分、ボトムシートの一部は、製造の都合上または構造上シームテープが施せない部分があります。通常の雨などは十分対応できますが、長時間の大雨や横なぐりの雨、地面に雨水が溜まっているような状態では、縫い目から雨水が侵入することがありますので必要に応じて縫い目にシームシーリング剤(目止め液)を塗布してください。シームシーリング剤は縫い目にそって表裏の両面からうすく塗布し、よく乾燥させてください。シームシーリング剤は時間とともに硬化してきます。剥離したときは塗布しなおしてください。また、当社ではシーリング作業サービスは行なっておりません。テントをより完璧な状態で使用するためにご協力をお願いいたします。



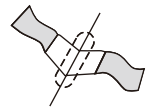
ボトムのコーナー部すべてにシームグリップ剤を塗布してください。(6カ所)



ベンチレーション部の外と内側にシームグリップ剤を塗布してください。



フライシート外側、ベルクロテープの縫い付け部にシームグリップ剤を塗布してください。(10カ所)

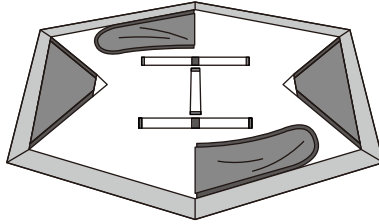


フライシート内側、ベルクロテープの縫い付け部の表と裏側にシームグリップ剤を塗布してください。(10カ所)

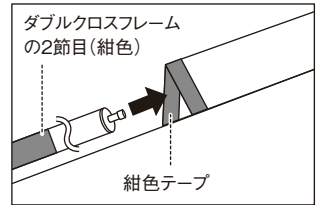
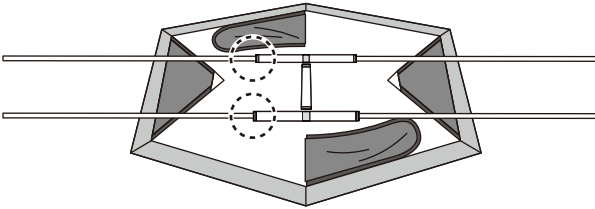
設営の手順

設営・撤収は以下の説明に従いキャンプ前に繰り返し練習し、実際のキャンプに備えてください。
無理な設営・撤収は本体やフレームの破損や事故の原因になります。
キャンプに行く前にセット内容に不備がないことを必ず確認してください。

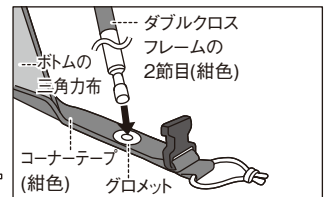
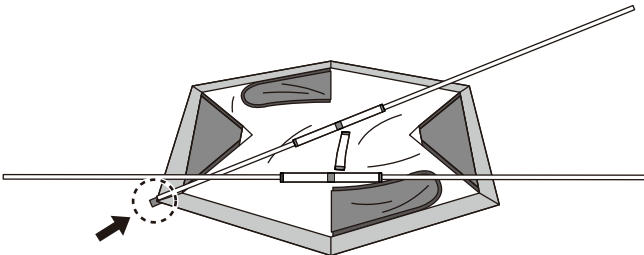
- ① インナーテントを設営する平坦な地面にボトム面が底になるように広げてください。
※風があるときは出入口が風下を向くように設営してください。出入口を風上に向けると、風雨が侵入したり、突然風が入り本体が飛ばされたり、破損する場合があります。



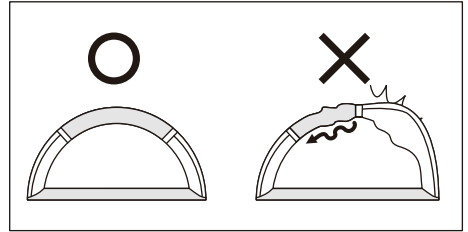
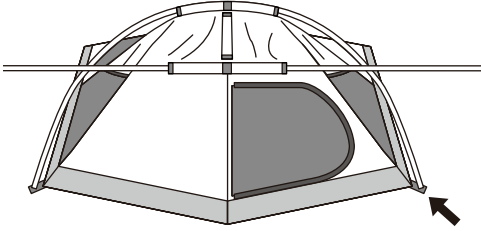
- ② ダブルクロスフレームをインナーテントの紺色のテープが付いたスリーブに差し込んでください。
※差し込む際にフレームの2節目(紺色)とスリーブのテープ(紺色)の色が合っているか確認してください。



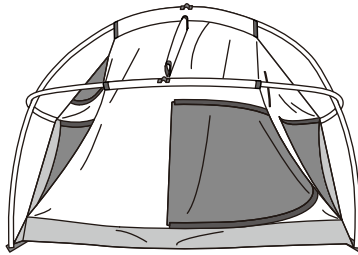
- ③ ダブルクロスフレーム片側の先端をボトムのコーナーテープのグロメットに差し込んでください。
※差し込む際にフレームの2節目(紺色)とコーナーテープ(紺色)の色が合っているか確認してください。
※コーナーテープにグロメットが2つある箇所は内側のグロメットに差し込んでください。



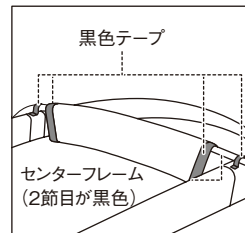
- ④ 差し込んだダブルクロスフレームの反対側の先端をコーナーテープのグロメットに差し込んでください。
 ※差し込む際にフレームの2節目(紺色)とコーナーテープ(紺色)の色が合っているか確認してください。
 ※コーナーテープにグロメットが2つある箇所は内側のグロメットに差し込んでください。
 ※スリーブの位置が中央になるようにスリーブを引っ張り、調整しながらゆっくりとフレームを差し込んでください。一方から強引に押し込むとフレームの反対側が大きく湾曲し、フレームが破損する原因になります。よく注意しながらグロメットに差し込んでください。



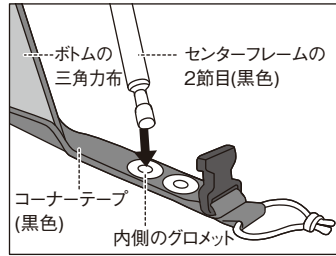
- ⑤ ③④と同じ要領でもう1本のダブルクロスフレームの両端をコーナーテープのグロメットに差し込んでください。



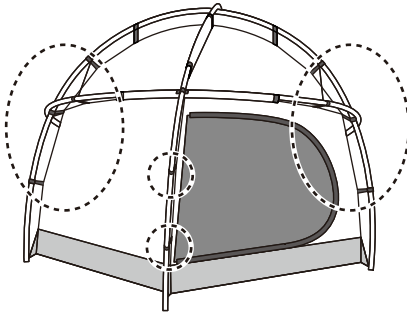
- ⑥ センターフレームをインナーテントの黒色のテープが着いたスリーブとダブルクロスフレーム用のスリーブ上にある黒色テープに差し込んでください。
 ※差し込む際にフレームの2節目(黒色)とスリーブのテープ(黒色)の色があっているか確認してください。
 ※フレームを差し込む際には、必ず押し込んでください。フレームを引っ張ると、ジョイントがはずれ、接続が不十分になることがあります。



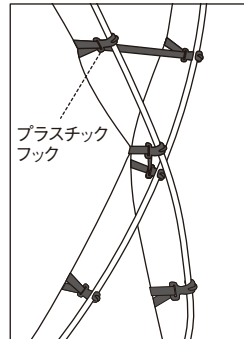
- ⑦ ③④と同じ要領でセンターフレームの両端をコーナーテープの内側のグロメットに差し込んでください。
 ※差し込む際に、フレームの2節目(黒色)とコーナーテープ(黒色)の色がっているかを確認してください。



- ⑧ 本体に付いているプラスチックフックをそれぞれのフレームに引っ掛けてください。(16カ所)



反対側も同様



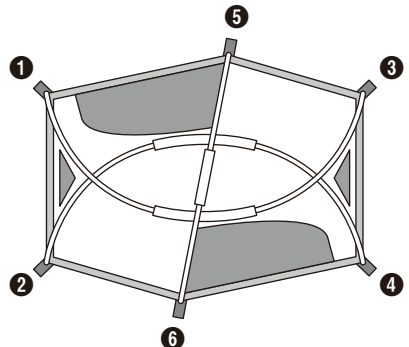
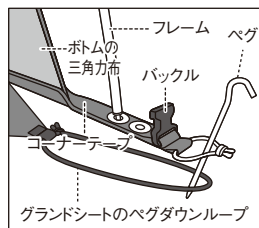
- ⑨ テントを設営する場所にグランドシートをPUコーティング面(てかりのある面)が上になるように敷いてください。
 グランドシートの上にテントのインナーテントを設営してください。

- ⑩ 開いているファスナーをすべて閉めた後、各コーナーテープの先端に付いているベグダウンループとグランドシートのベグダウンループを併せてベグを通し、ボトムのたるみを取るように図の番号順に軽く引きベグを打ち込んでください。(6カ所)

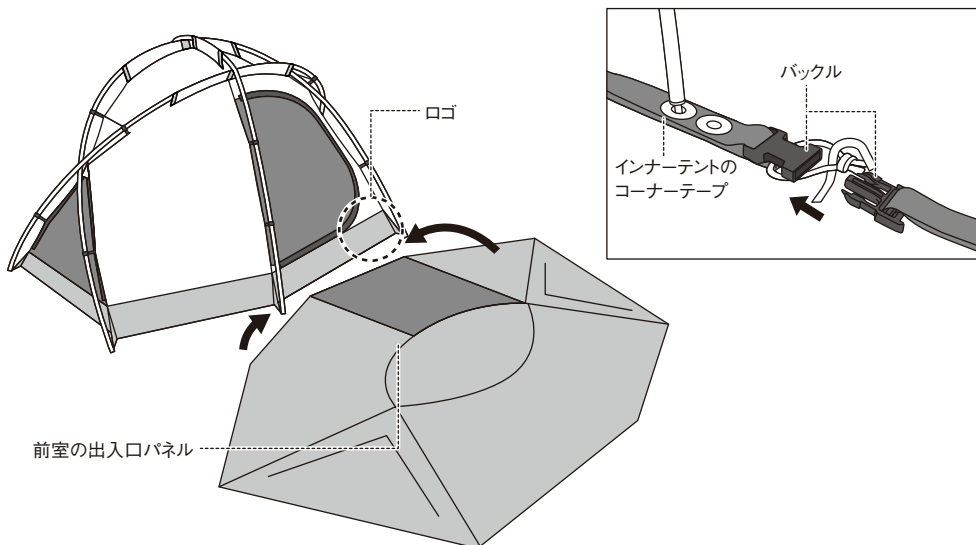
※ファスナーを閉めずにベグダウンをすると、ドアが閉められなくなることがあります。

※ベグは最後まで打ち込んでください。

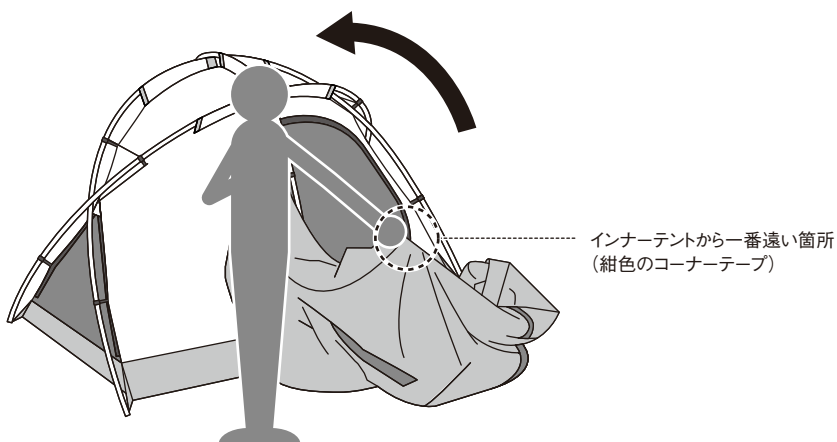
※ベグは無理に打ち込むと曲がりや折れ等の破損につながります。少しずつ打ち込み、石などの障害物に当たった場合は場所を少し変えてから打ち込んでください。



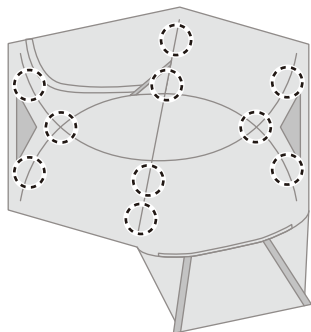
- ⑪ フライシートをインナーテントの前に裏面(ロゴが反対向きの面)が上に向くように広げてください。このとき、前室の出入口パネルをインナーテントの出入口(ロゴが表示されているパネル)に近付けてください。その後、図の様にフライシートとインナーテントそれぞれの出入口の両脇にある黒色と紺色のコーナーテープの先端にあるバックルを繋いでください。
※バックルを繋げる際はテープがねじれないように注意してください。



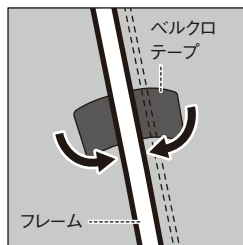
- ⑫ フライシートのインナーテントから一番遠い箇所を持ちフライシートをインナーテントに被せてください。その後、インナーテントとフライシートのパネルの形状が一致するようにフライシートの位置を調節してください。インナーテントは前後が対称になっておりどちら側でもフライシートの取り付けが可能です。



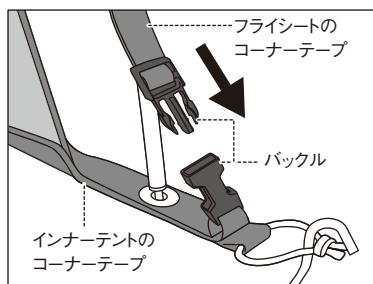
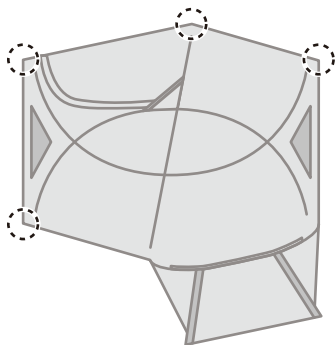
- ⑬ フライシートの内側に付いているズレ防止のベルクロテープをフレームに巻きつけて固定してください。(10カ所)



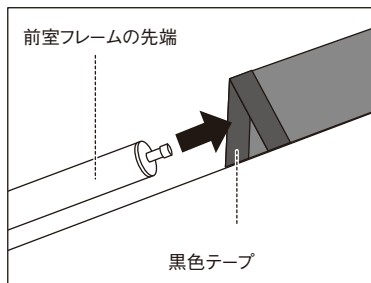
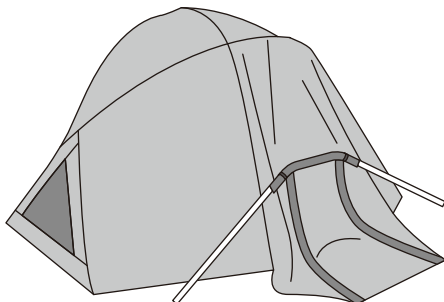
フライシート内側



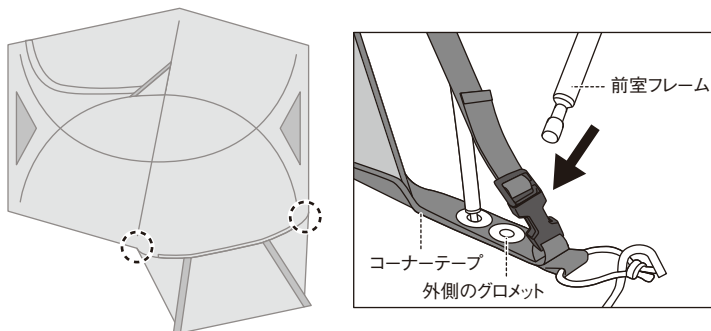
- ⑭ インナーテントとフライシートの各コーナーテープの先端にあるバックルをつなげてください。(4カ所)
つなげた後にすべてのバックルの調節テープを引いてフライシートを張ってください。
※つなげる際に各コーナーテープの色が合っているか、コーナーテープがねじれていないか確認してください。



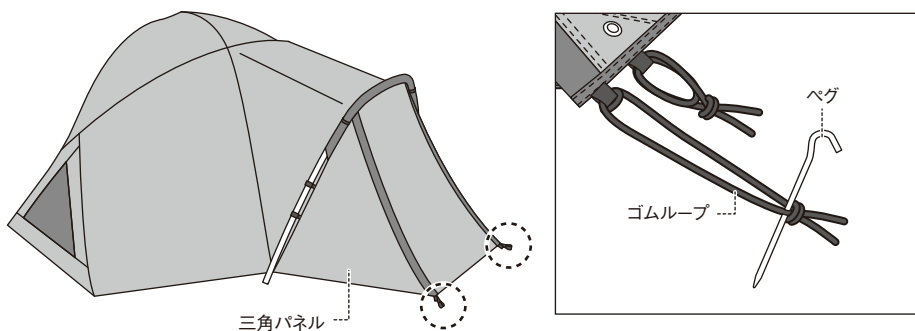
- ⑮ 黒色のテープが付いた前室スリーブに前室フレームを通してフレームとスリーブの中心が合うまで押し込んでください。
※フレームを差し込む際には、必ず押し込んでください。フレームを引っ張ると、ジョイントがはずれ、接続が不十分になることがあります。



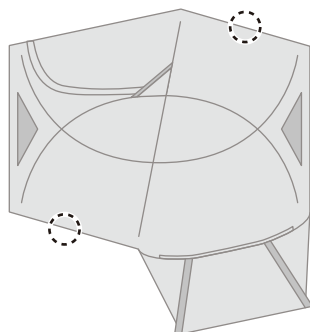
- ①⑥ 前室フレームの両端をコーナーテープの外側にあるグロメットに差し込んでください。その後、フライシートに付いているプラスチックフックを前室フレームに引っ掛けてください。(4カ所)



- ①⑦ 前室の先端を引き、前室の三角パネルについているゴムループにペグを通し打ち込んで固定してください。
※前室は引き過ぎるとファスナーに負担がかかり破損する恐れがあります。引き過ぎにご注意ください。



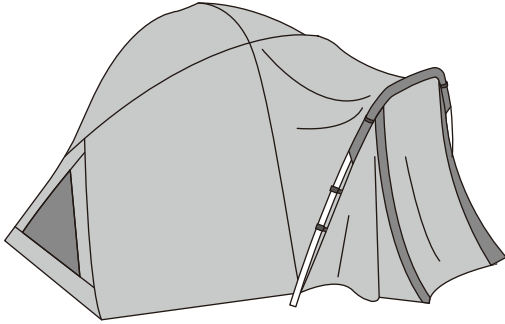
- ①⑧ P4の「自在付ロープのフライシートへの取り付け、ペグダウンの位置」の図のように各自在付ロープをフライシートに取り付けて引き、ペグで固定してからテンションをかけてください。
※ロープは引き過ぎますとフライシートに負担がかかり破損する恐れがあります。引き過ぎにご注意ください。
※前後のパネルにゴムループが付いています。強風時などパネルのバタつきが気になる場合は、ペグダウンしてください。



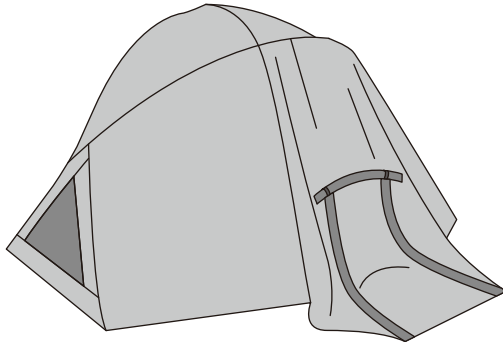
撤収の手順

撤収は設営と逆の手順で行ってください。インナーテント内、フライシート内にもものが入っていないことを確認してから作業を開始してください。インナーテントの出入口のファスナーを少し開いておくとう巻き取りやすくなります。

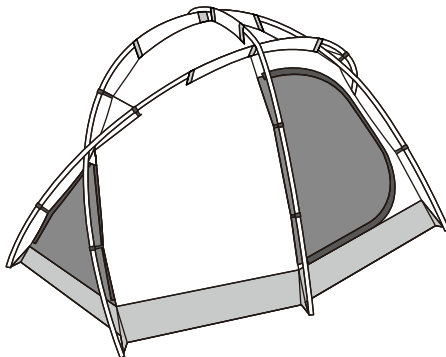
- ① すべてのペグを地面から抜き取り、自在付ロープをまとめてください。
※風が強い場合は風上側にあるテントボトムのパグは抜き取らずに残してください。



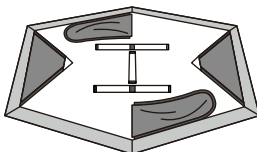
- ② 前室フレームのプラスチックフックをはずし、前室フレームをフライシートから取り出してください。
※フレームをグロメットからははずす際は、必ず手でフレームをつかんでください。フレームが跳ね上がり大変危険です。
※スリーブからフレームを取り出す際は、周りの状況をよく確認し必ず押し出しながら取り出してください。



- ③ コーナーテープのバックルとフライシート内側のベルクロテープをはずし、フライシートをインナーテントから取りはずしてください。

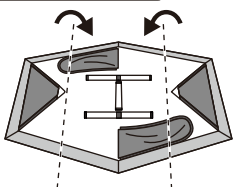


- ④ フレームに付いているプラスチックフックをすべて取りはずした後、センターフレーム、ダブルクロスフレームの順にフレームをインナーテントから抜き取ってください。
 ※フレームをグロメットからはずす際は、必ず手でフレームをつかんでください。フレームが跳ね上がり大変危険です。
 ※スリーブからフレームを取り出す際は、周りの状況をよく確認し必ず押し出しながら取り出してください。
 ※インナーテントのベグを残している場合は、フレームははずした後すべて抜き取ってください。

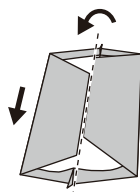


- ⑤ フライシートとインナーテントをキャリーバッグの幅に合うよう図の様に折りたたみ収納してください。

インナーテントのたたみ方

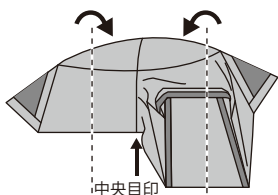


① 両端を中央に向かって内側に折ってください。

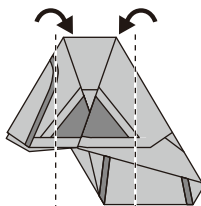


② 縦に2つ折りして矢印の方向に巻いてください。

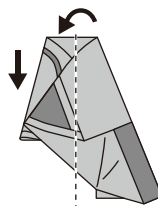
フライシートのたたみ方



① 両端を中央に向かって内側に折ってください。

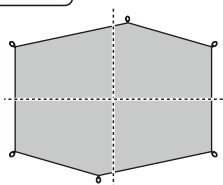


② さらに両端を中央に向かって内側に折ってください。

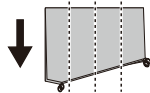


③ 縦に2つ折りして矢印の方向に巻いてください。

グランドシートのたたみ方

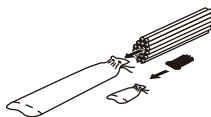


① 1/4に折ってください。



② 縦に4つ折りして矢印の方向に巻いてください。

- ⑥ フレームやベグは付属のフレームケース、ベグケースに入れてキャリーバッグに収納してください。



撥水・防水性能について

- 本製品のフライシートの生地には撥水加工を施していますが、生地の特性上、撥水性能(撥水の仕方や耐久性)に若干の差が見られる場合があります。また、ご使用を重ねますと撥水性能が低下する場合があります。性能が低下した場合は市販の撥水スプレー等を、それらの説明書をよくお読みの上ご使用ください。
- ボトムにはPUコーティングを施してありますが、地面の水溜りなどへ長時間接触していると雨水が浸み込む場合があります。地面の水溜りなどへ長時間接触していると雨水が浸み込む場合があります。
- 農業などでPUコーティングが破壊され耐水圧が異常低下してしまう場合があります。この症状と判断された場合、製品の保証が出来なくなりますのでご注意ください。
- 撥水剤の影響によりロゴマークが剥離する場合があります。

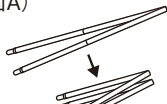
紫外線の影響について

- テントの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- 紫外線の影響と思われる素材の劣化により、耐久度合いを超えたものは弊社でも修理できない場合があります。

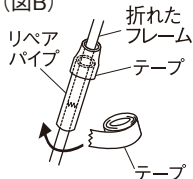
メンテナンス・保管

- 本製品はポリエステル生地を組み合わせで使用しています。生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、色移りが発生する場合があります。ご了承ください。また、濡れたままの保管は避けてください。
- 濡れたまま保管すると、カビや悪臭、生地の色移り、生地の劣化などのトラブルの原因になりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかいブラシなどで泥汚れを落としてから保管してください。
- フレームは表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると腐食したり、強度が低下します。ジョイント部分は常に清潔にし、少量のシリコン系潤滑剤を薄く塗布してください。塗布しすぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。また、フレーム内部のショックコードは不必要に引っ張らないでください。
- フレームを収納する際は、中央を意識しながら折り畳んでください。(図A)
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- ファスナーに泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると摩耗し破損の原因になりますので、ブラシなどを常に清潔にしてください。また、スライダーの動きを滑らかにするために、少量のシリコン系樹脂剤を定期的に塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。
- 小さな生地の破損は市販のリペアテープで補修できます。補修の際はリペアテープの説明書をよくお読みください。
- ご使用により広範囲にわたり素材が劣化し、耐久度合いを超えたものは修理できない場合があります。
- シームテープはPUコーティングが痛まない程度の温度設定で圧着されていますが、使用を重ねるにしたがい剥離してしまう場合があります。剥離が確認された場合は、アイロンを低温に設定し、剥離箇所のみを再度圧着してください。熱を掛け過ぎた場合生地が変色したり劣化が促進されますのでご注意ください。シームテープは無理やり剥離させないでください。PUコーティングと一緒に剥離された場合、修理できなくなる可能性があります。
- 樹液が付着してしまうときれいに除去することはできません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設営してください。溶剤などにより無理に除去すると生地やコーティングを傷めます。
- 次の使用に備え、ロープやベグなどの付属品も含め、上記の通り十分に保守、点検をしてください。
- 使用する際にフレームが折れてしまった場合は、応急処置として速やかに付属のリペアパイプをあて、ビニールテープで固定するか、撤収をしてください。(図B)

(図A)



(図B)



品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期してありますが万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適正な価格で修理させていただきます。修理・交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は保証、修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

1. 取扱説明書に従わなかったと判断した場合。
2. 素材の経年劣化による製品の寿命。
3. 改造及び粗雑な扱いによる製品の故障。
4. 不測の事故による製品の故障。
5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障。
6. ゴミやサビによる故障。
7. 分解したことによる不具合の発生または破損。
8. 落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合。
9. 消耗品の劣化、破損、故障及び付随する不具合。
10. 他社製品との組合せによる故障。

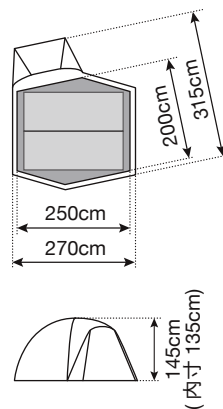
修理について

- 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。
- 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
- 修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
- 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
 - 1.保証対象の場合：往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
 - 2.保証対象以外の場合：往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

スペック

○セット内容:フライシート、インナーテント、グランドシート、ダブルクロスフレーム(×2)、センターフレーム(×1)、前室フレーム(×1)、ジュラルミンペグ(17cm×16)、自在付ロープ(二又用4m×2、2m×4)、リベアパイプ、キャリーバッグ、フレームケース、ペグケース
○材質:フライシート/20Dシリコンポリエステルミニリップストップ・PUコーティング耐水圧1,500mmミニマム、インナーウォール/20Dポリエステルミニリップストップ、ボトム、グランドシート/40Dナイロンリップストップ・PUコーティング耐水圧1,500mmミニマム、フレーム/ジュラルミンA7001(φ11mm)
○収納サイズ:キャリーバッグサイズ:61×19×23(h)cm
○重量:4.3kg(ペグ・ロープ・グランドシート除く)

○対応人数 2名



不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

スノーピークユーザーサービス
☎ 0120-010-660 (9:00~17:00)
Email: userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク

〒955-0147 新潟県三条市中野原456
Tel. 0256-46-5858 / Fax. 0256-46-5860
www.snowpeak.co.jp

Product Manual : Ver 1.00

FES-652

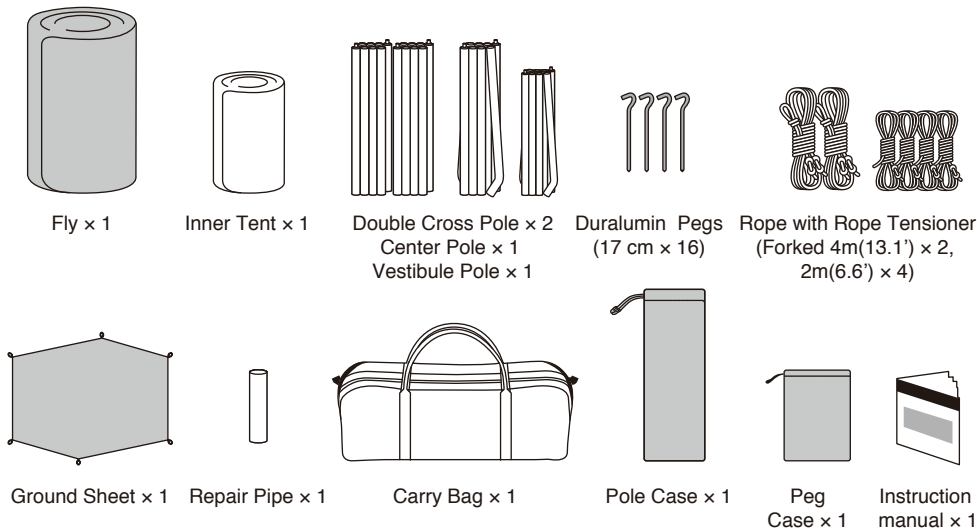
Land Breeze Pro. Air Duo



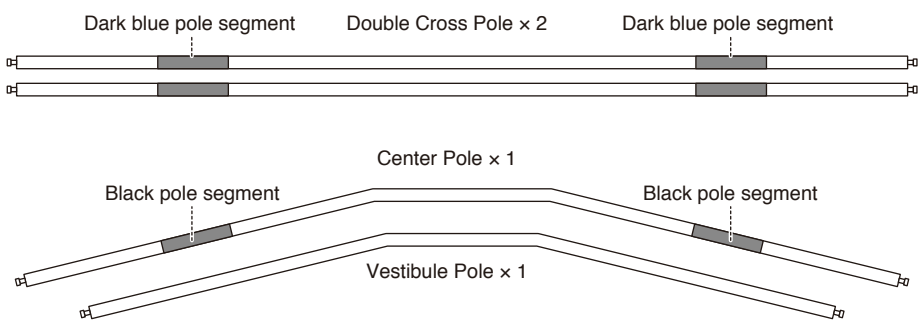
Thank you for purchasing a Snow Peak product. This product is a tent for camping. For safety, read the following instruction manual before use. Please keep it safe for future reference. Finally, if you find anything that you do not understand in the description or any problems with the product, please stop use immediately and contact the retailer or Snow Peak Customer Service.

Set Contents

Contents are based on setup in average conditions. If you bring a sturdy, long peg or a spare rope, you can be flexible for various conditions. Always carry a spare as the peg, rope, and rope stoppers are consumable items that wear out over time.



Set Contents



Safety Precautions Before use please read thoroughly to ensure safety and to avoid accidents.

⚠ DANGER Misuse could easily result in a serious accident or death.

- The tent's material is not flame-proof. Therefore, do not use combustion-based heat sources such as lanterns, stoves, heaters, or open flames such as matches, candles, lighters, or cigarettes inside the tent. The use of such heat or light sources inside a small enclosed space is dangerous and may result in fire, oxygen deficiency, or carbon monoxide poisoning.
- Do not keep fuel or flammable items for replenishing the fuel inside the tent.



⚠ WARNING Misuse could result in serious injury or death.

- Pay close attention to the weather. If extreme weather is in the forecast, pack up camp and evacuate to a safe place.
- Do not bring heated items into the tent when they are at high temperatures. Very high temperatures inside of the tent may cause fire or heatstroke.
- Hot weather will cause high temperatures in the tent, leading to a higher risk of heatstroke. Pay close attention to temperatures, particularly when children are asleep inside the tent.
- Choose a flat, well-drained area with firm ground to pitch the tent. The area should have no chance of avalanches, landslides, wind gusts, or sudden flooding.



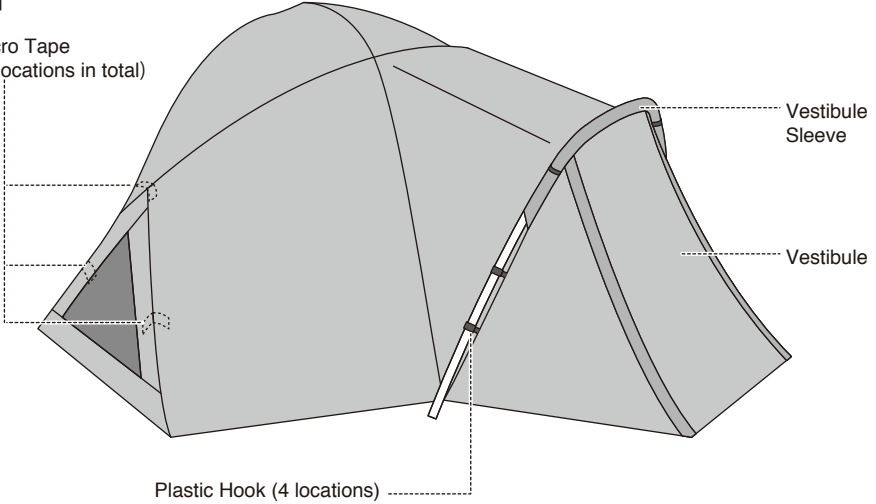
⚠ CAUTION Misuse could result in injury to the user and/or damage to property.

- This product is not intended to be in permanent use, as it may fade or deteriorate if exposed to sunlight over a long period of time.
- Sunlight can cause the surface of the fly to heat up, potentially causing low-temperature burns.
- Flying sparks can create holes in the tent fabric. Do not assemble or use the tent close to a bonfire, fireworks, or areas where a fire is present. When setting up and disassembling, make sure there is no fire around.
- Sap cannot be removed easily once it dries. Please avoid setting up under trees where sap is likely to drip. Please do not use organic solvents such as thinner or benzene to remove the sap, as they will damage the fabric and its coating.
- Firmly hold the tent pole when assembling and disassembling the tent. Pole ends recoiling may lead to unexpected accidents, so ensure that the surroundings are safe with no bystanders in the vicinity.
- Secure the tent firmly with pegs and ropes.
- It is made of thin fabric, so it may break if you pull the fabric too much. Please be careful.
- Watch your feet when utilizing the rope and peg. It may offset your balance and cause an unexpected accident.
- The inner tent has a loop to hang small items. Please only use with items less than 1 kg.
- Use the tent on a flat surface free of sharp objects such as stones and branches.

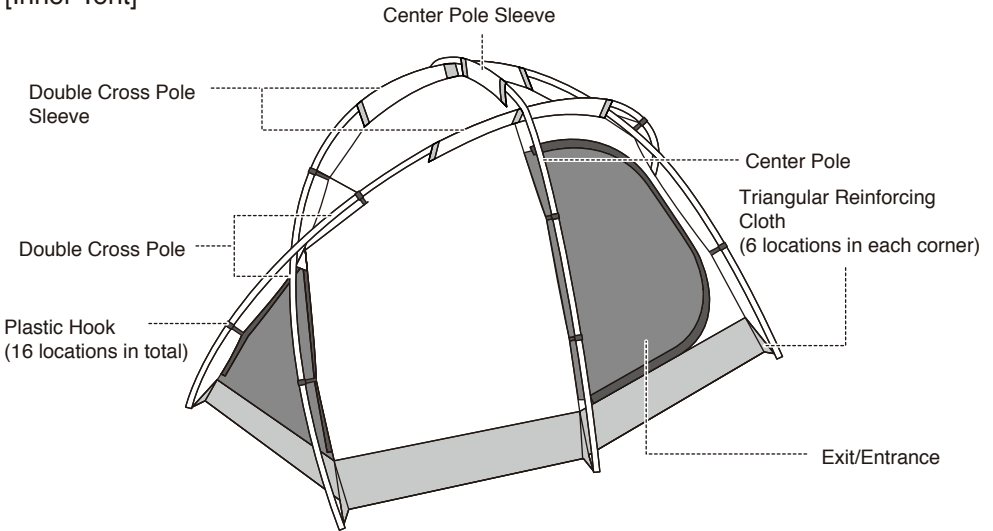
Name of the Parts

[Fly]

Velcro Tape
(10 locations in total)

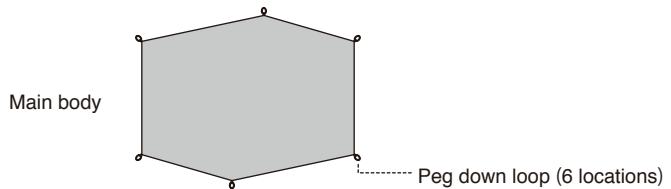


[Inner Tent]



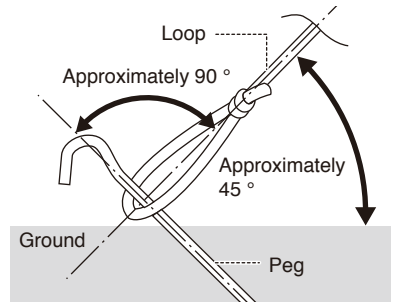
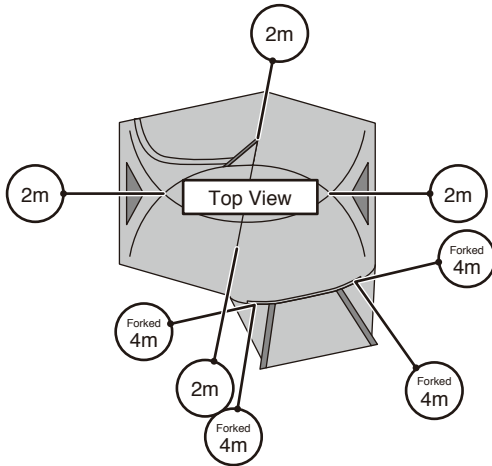
The structure of corner tapes and panels in the Inner Tent are symmetrical in the front and back. There is a loop to hang small items inside the tent. Each loop can hold items up to 1kg (2.2 lbs) in weight.

[Ground Sheet]



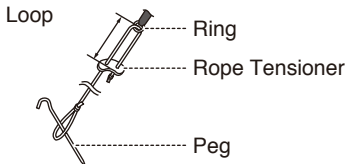
How to attach Rope with Rope Tensioner on the Fly and Peg-down position

Attach the rope with rope tensioner to the fly and peg down as shown below.



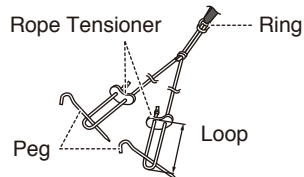
Peg down as far away from the tent as possible. When set up, the angle of the rope should be about 45° to the ground, which is the ideal peg-down position. Also, please pull down the peg so that the angle to drive the peg is 90° to the rope.

How to attach a single rope



Attach the rope so that the loop with the rope tensioner comes to the o-ring side.

How to attach forked rope

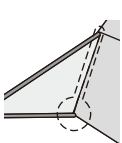


Insert the middle knot through the ring and attach the forked rope so that the loop comes to the peg side.

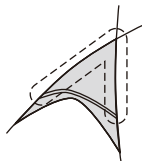
How to attach Rope with Rope Tensioner on the Fly and Peg-down position

1. Sealing with Seam Sealer

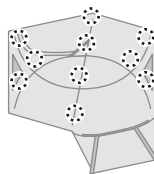
*Seam sealer is not included in this product. When using, please purchase seam sealant from local outdoor gear retailer. A waterproofing treatment with seam taping has been applied to the stitching of the tent. However, the ventilator and fasteners on the Fly and a part of the bottom sheet cannot be treated with the seam tape due to their inherent design. Though capable during periods of normal rain, long spells of heavy or driving rain, or prolonged contact with water pools on the ground, may result in the penetration of water along the stitching. In such cases, the application of a seam sealer is recommended. Apply the seam sealer lightly on both sides along the stitching and dry completely. The seam sealer will cure with time. As the seam sealer wears off, re-apply as necessary. We do not provide a sealing service. However, to maintain the tent in its best condition, application of seam sealer by the user is highly recommended.



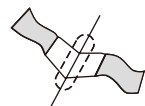
Apply the Seam Sealer to all corner parts of the Bottom. (6 locations)



Apply the Seam Sealer to the outside and inside of the ventilation area.



Apply the Seam Sealer to the sewn part of the Velcro tape on the outside of the fly. (10 locations)

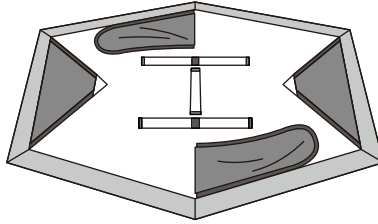


Please apply the Seam Sealer on both surfaces of the Velcro Tape, on the backside of Fly. (10 locations)

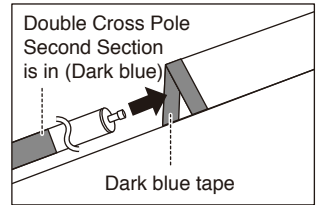
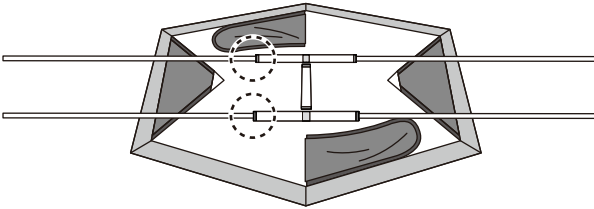
Set-up Procedure

Please prepare for actual camping by repeatedly practicing setup and disassemble the tent before camping according to the instructions below. Forced setup or disassemble may cause damage to the main unit or Pole or accidents. Please make sure that there is no defect in the Contents Included before going camping.

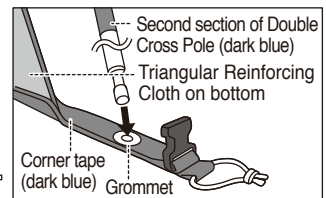
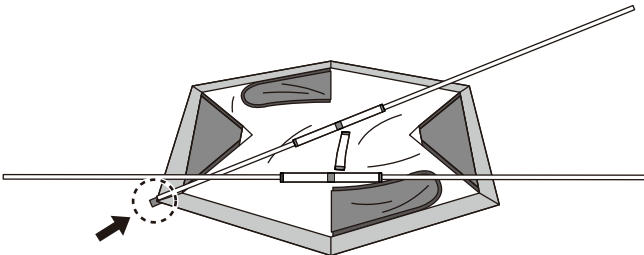
- 1 Spread the Inner Tent out on the flat ground where you wish to set up with the bottom underneath.
*Typically, the entrance/exit should face downwind. If the entrance/exit faces windward, not only will wind and rain blow into the main entrance, but sudden and strong gusts may cause damage to the tent.



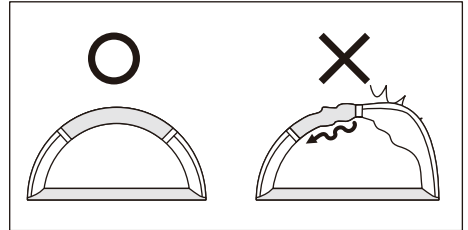
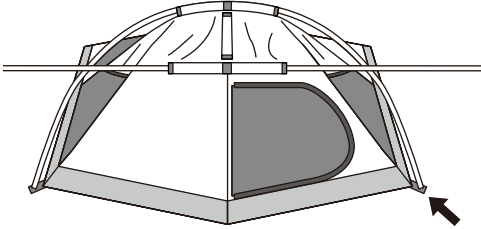
- 2 Insert the Double Cross Pole into the sleeve with the dark blue tape on the inner tent.
* When inserting, please make sure that the color of the second section of the pole (dark blue) and the sleeve tape (dark blue) match.



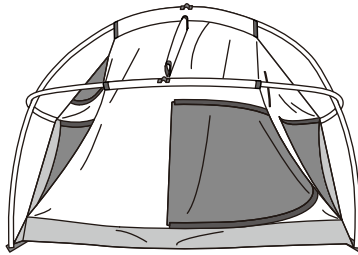
- 3 Please insert the tip of one side of Double Cross Pole into the grommet of the bottom corner tape.
* When inserting, please check to ensure the color of the second section of pole (dark blue) and corner tape (dark blue) match.
* Please insert into the inner grommet where the corner tape has 2 grommets.



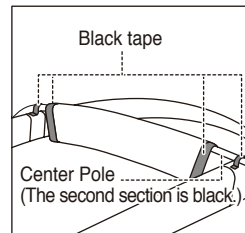
- 4** Insert the tip of the opposite side of the Double Cross Pole into the grommet of the corner tape.
 * When inserting, please check if the color of the second section of Pole (dark blue) and corner tape (dark blue) match.
 * Please insert into the inner grommet when the corner tape has 2 grommets.
 * Slowly insert the pole while adjusting the sleeve so it is positioned in the center. If the Pole is inserted with too much force from one side, the other side may curve widely and cause damage to the Pole. Insert it into the grommet carefully.



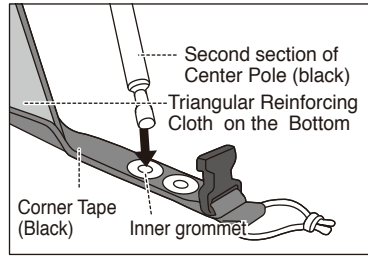
- 5** Insert both ends of the other Double Cross Pole into the corner tape grommet in the same way as step③④.



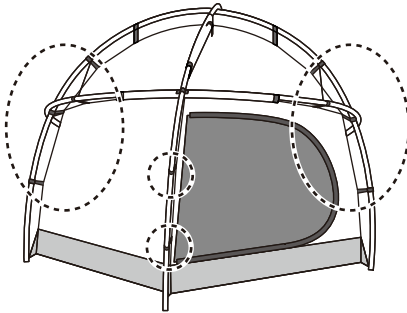
- 6** Please insert the Center Pole into both sleeves with the black tape of the inner tent and the black tape on the sleeve for Double Cross Pole.
 * When inserting, please check to ensure the color of the second section of the pole (black) and the tape of the sleeve (black) match.
 * When inserting the pole, be sure to push it in. If you pull the pole, the joint will come off and the connection may become insufficient.



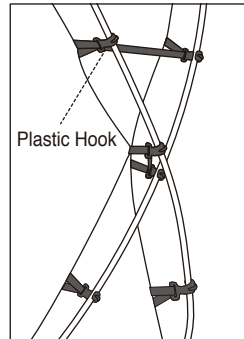
- 7 Insert both ends of the Center Pole into the grommets on the inside of the corner tape in the same way as steps 3④.*When inserting, make sure that the color of the second section of the pole (black) and the Corner Tape (black) are the same.



- 8 Hook the Plastic Hooks attached to the Inner Tent to each pole. (16 locations)

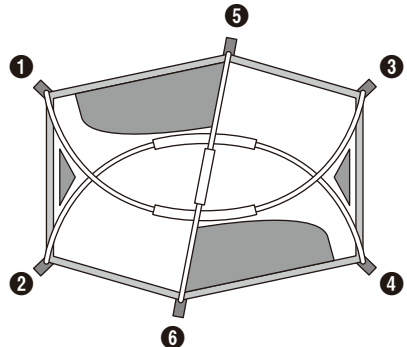
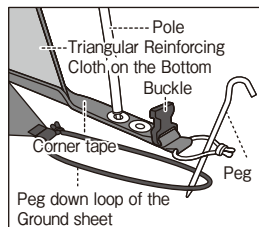


Same on the opposite side.

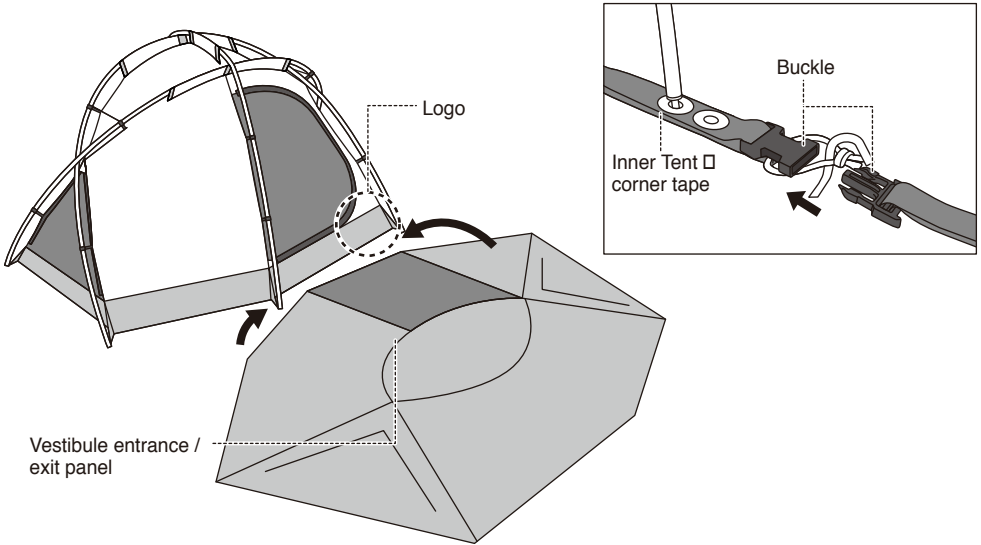


- 9 Lay the Ground Sheet on the place where the tent will be set up so that the PU coating surface (the shiny surface side) faces up.
Set up the Inner Tent on the Ground Sheet.

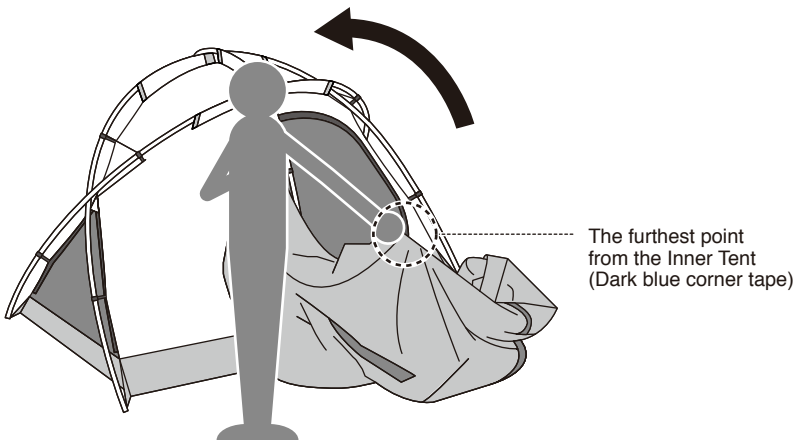
- 10 After closing all the open zippers, insert the pegs through the loops at the end of each corner tape and the loops on the groundsheet, and gently pull the pegs in the order shown in the figure to remove slack. (6 locations)
* If you peg down without closing the zipper, you may not be able to close the door.
* Hammer the peg all the way down.
* If the peg is driven in too hard, it may bend, or be damaged. If the peg hits an obstacle such as a stone, change the location of the peg slightly before hammering it in.



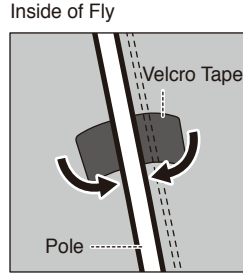
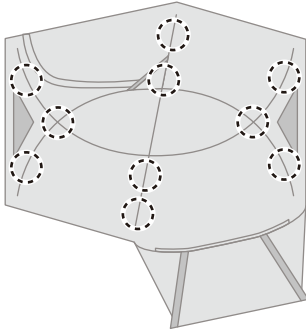
- 11 Spread the Fly out in front of the Inner Tent so that the back side (the side where the logo is facing away) faces up. Then, move the Vestibule entrance / exit panel close to the Inner Tent entrance / exit (the panel with the logo on it). After that, connect the buckle at the tip of the black and dark blue corner tape on both sides of the entrance of the Fly and Inner Tent as shown in the figure.
* Be careful not to twist the tapes when connecting the buckles.



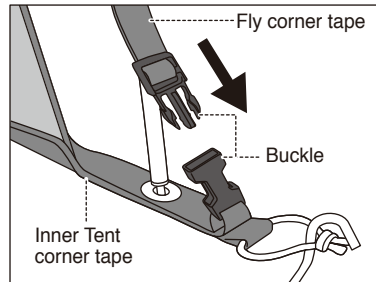
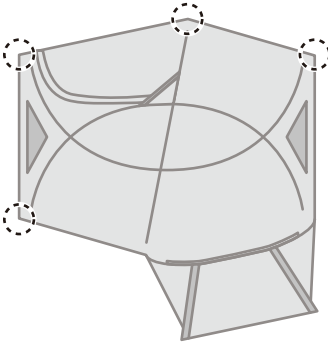
- 12 Hold the part of the Fly farthest from the Inner Tent and cover the Inner Tent with Fly. After that, adjust the position of the Inner Tent so that the panels of the Inner Tent and the Fly match. The Inner Tent is symmetrical front to back, so the Fly can be attached on either side.



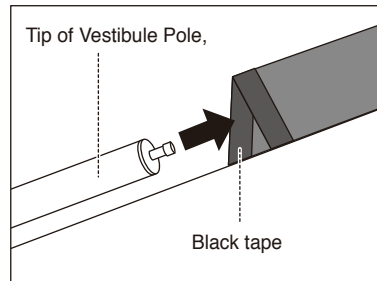
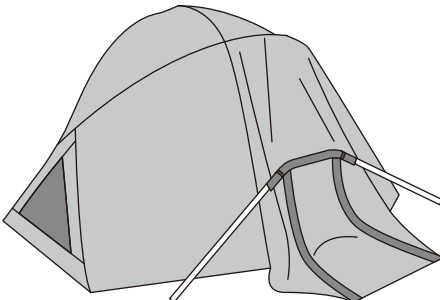
- 13 Wind the Velcro Tape on the inside of the Fly around the Pole to secure it. (10 locations)



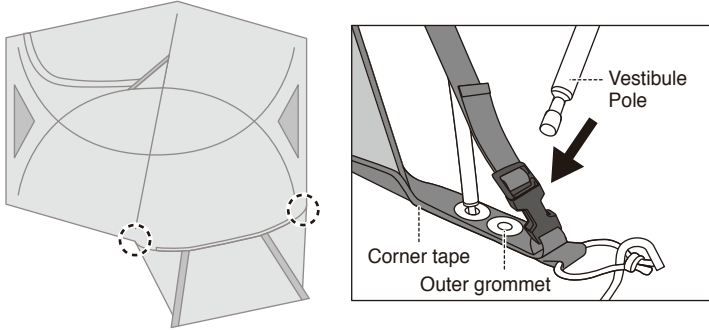
- 14 Connect the buckle at the tip of each corner tape of Inner Tent and Fly. (4 locations) After connecting, pull the adjustment tape of all the buckles and stretch the Fly.
* When connecting, please check to ensure the color of each corner tape matches and that the corner tape is not twisted.



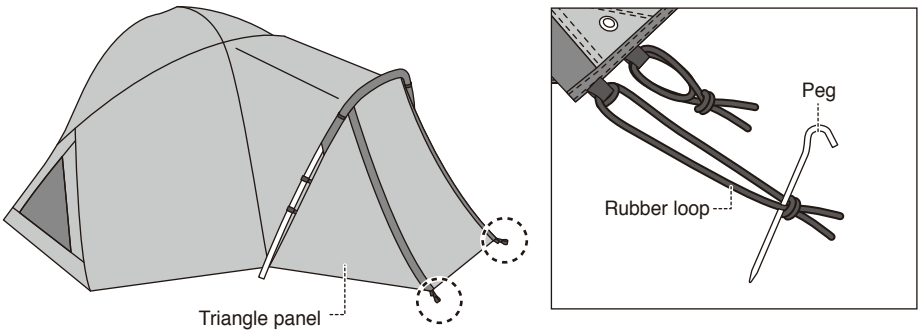
- 15 Pass the Vestibule Pole through the Vestibule Sleeve with black tape. Push it until the center of Pole and Sleeve matches.
* When inserting the Pole, be sure to push it in. If you pull the Pole, the joint will come apart and the connection may become insufficient.



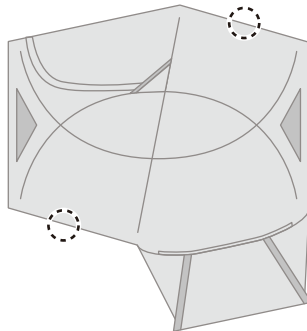
- 16 Insert both ends of Vestibule Pole into the grommet on the outside of the corner tape. After that, hook the Plastic Hook attached to Fly to Vestibule Pole. (4 locations)



- 17 Pull the end of the Vestibule and secure it by driving the peg through the rubber loop attached to the triangle panel of the Vestibule.
 *If the Vestibule is pulled too far, the zippers may be overloaded and damaged. Please be careful not to pull it too far.



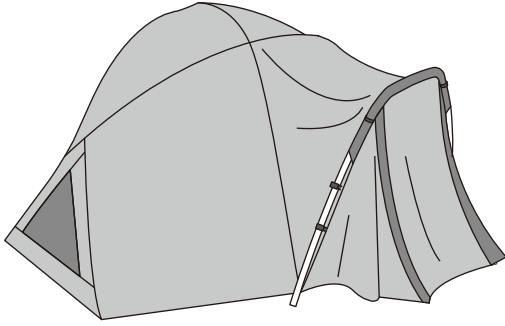
- 18 As shown in the figure of "How to attach Rope with Rope Tensioner on the Fly and Peg-down position" on page 4, attach each Rope with Rope Tensioner to the Fly and pull it, secure it with the peg, and then apply tension.
 * If you pull the rope too much, it will pressure on the Fly and it may break. Please be careful not to pull too much.
 *Elastic loops are attached to the front and rear panels. If you are concerned about panels flapping in high winds, peg them down.



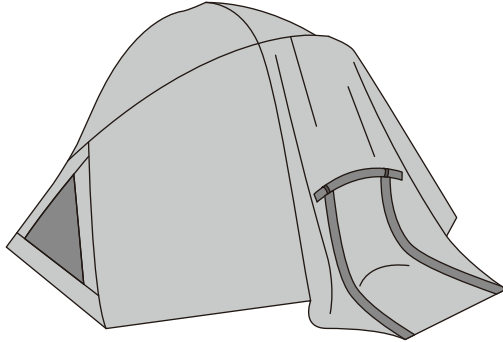
How to disassemble

Disassembly should be done in the reverse order of set up. Make sure that nothing is inside the Inner tent or Fly before starting to disassemble. It is easier to roll up the Inner Tent if you leave the zipper at the entrance/exit of the Inner Tent slightly open.

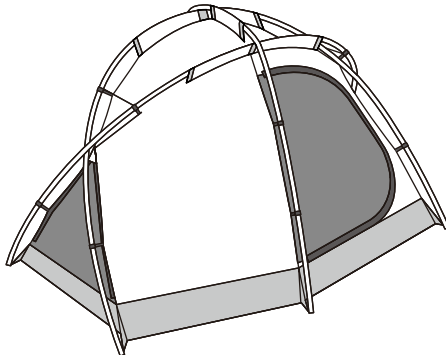
- 1 Pull all the pegs out of the ground and put the Rope with Rope Tensioner together.
* If the wind is strong, leave the tent's bottom pegs on the windward side so the tent does not blow away.



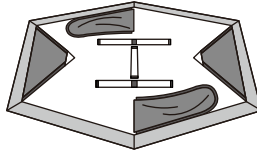
- 2 Please remove the Plastic Hook off Vestibule Pole and then take the Vestibule Pole out of Fly.
* When removing the Pole from the grommet, be sure to grasp the Pole with your hand. If not, the Pole will be bouncing up and is very dangerous.
* When removing the Pole from the Sleeve, please check the surrounding conditions carefully and make sure to push it out.



- 3 Remove the corner tape buckle and the Velcro Tape inside the Fly, and remove the Fly from the Inner Tent.

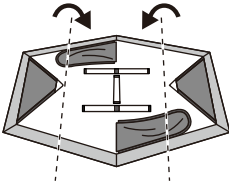


- ④ After removing all the Plastic Hooks attached to the Poles, remove the Pole from the Inner Tent in order of Center Pole and Double Cross Pole.
 * When removing the Pole from the grommet, be sure to grasp the Pole with your hand. If not, the Pole will jump up, and is very dangerous.
 * When taking out the Pole from the Sleeve, please check the surrounding area carefully and make sure to push it out.
 * If there are any Inner Tent pegs left, remove them after removing the Pole.

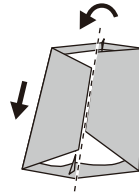


- ⑤ Fold the Fly and Inner Tent to fit the width of the Carry Bag as shown in the figure.

How to fold the Inner Tent

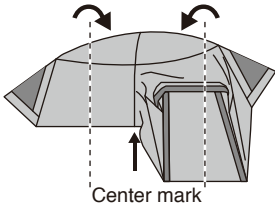


- ① Fold both ends inward toward the center

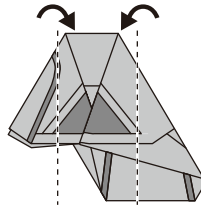


- ② Fold it vertically in two and wrap it in the direction of the arrow.

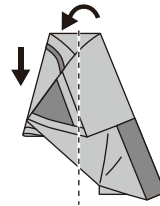
How to fold the Fly



- ① Fold both ends inward toward the center.



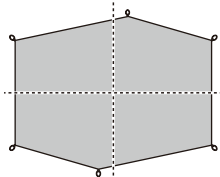
- ② Then, turn both ends toward the center



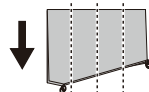
- ③ Fold it in two and roll it up in the direction of the arrow.

How to fold the Ground Sheet

Fold the Ground Sheet according to the Length of the Carrying Case and put it in the Carrying Case.

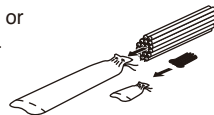


- ① Fold in 1/4.



- ② Fold it vertically in four and roll it up in the direction of the arrow.

- ⑥ Put the Poles and Pegs in the attached Pole Case or Peg Case and after that, store them in the Carry Bag.



Water-Repellent and Waterproof Functions

- The Fly of this product is treated with a high-quality, water-repellent finish. However, the level of water-repellent capacity and durability may vary slightly due to the characteristics of each material. The water-repellent finish will lose effectiveness after repeated use. When the water repellence decreases, please use a water-repellent spray purchased from your local outdoor gear retailer. When using such sprays, please follow the product's instructions.
- Materials with high waterproof capacity are used in this product. However, if the materials are in contact with pools of water on the ground for long periods, the water may be absorbed into the material, potentially resulting in discoloration.
- Agricultural chemicals may damage the PU coating and decrease the water-proof capacity. If this is the case, it will be beyond our guarantee.
- It is possible that some water-repellent sprays may cause the logo and other markings to peel-off.

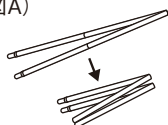
Regarding the Effect of Ultraviolet Rays

- When the tent material is exposed to sunlight for long periods, color degradation or strength deterioration may occur. Do not leave the product assembled permanently.
- If the material deteriorates due to ultraviolet rays and is badly damaged, it may become irreparable.

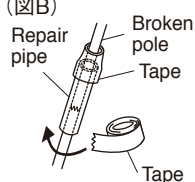
Maintenance & Storage

- A combination of Polyester fabric is used for this product. Taking the material characteristics into consideration, we adopted processing and color patterns that will result in less color migration. However, depending on storage conditions, slight color migration may occur. Do not store the product while it is wet.
- Before storage, the product should be cleaned and dried sufficiently. If the product is stored when wet, the build-up of mold, bad odors, color migration and material deterioration will occur. Dry the product sufficiently in a breezy and shaded area and clean the surface with a soft brush before storing.
- Clean and dry the surface of the Poles before storing. If stored when wet, corrosion may occur, resulting in strength deterioration. Keep the joints clean and apply a small amount of silicone lubricant; applying an excessive amount of lubricant will stain the cloth. Ensure that the cords inside the Poles are not pulled unnecessarily.
- Fold the Pole from the center to the edges. (Figure A)
- Store the product in a well-ventilated area, away from heat and moisture.
- Using the zipper when it is covered with mud, sand or dust may cause wear or damage. Clean the zipper with a brush before use. Apply small amounts of silicone lubricant to the zipper regularly to allow for smooth movement. Do not apply excessive amounts of lubricant as it will leave stains on the cloth.
- Slight damage to the cloth can be mended with repair tape that can be purchased from your local outdoor gear retailer. Refer to the product instructions for the correct use of such repair tape.
- Depending on the conditions during use, the tent material may deteriorate over a wide area, losing its durability and becoming irreparable.
- Seam tape is attached at a temperature which does not damage the PU coating but with repeated use may peel off the PU coating. If you find the PU coating is peeling off, use an iron at low temperature to apply the PU coating again. If the iron is too hot, it may discolor the cloth and cause material to deteriorate sooner. Do not peel off the seam tape forcibly. If PU coating is peeled off, it may become beyond repair.
- If tree sap comes into contact with the product, it can't be cleaned off. Refrain from setting up the product under trees with sap. The materials and/or the coating of the materials may be damaged if tree sap is removed using a solvent.
- For future use, regularly inspect and maintain the product including the accessories such as the pegs. If a pole is broken while the tent is in use, for an emergency treatment, use a repair pipe and secure with vinyl tape. Or fully disassemble the tent for repair. (Figure B)

(A)



(B)



Warranty

Snow Peak has taken all possible measures to ensure every product is durable and functions correctly. If you find any product defects, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service. If there are apparent defects in the product's manufacturing, the defective product will be repaired or exchanged free of charge. In other cases, Snow Peak will repair the product for an appropriate fee. The decision to repair or replace the product will be at our discretion. Snow Peak will not repair the product for any damage that occurred due to the following: 1. Material deterioration caused by age. / 2. Damage caused by modifications or rough handling. / 3. Damage caused by inappropriate use not mentioned in the instruction manual. / 4. Damage caused by unexpected accidents. / 5. Any damage other than defects in the manufacturing process. / 6. Damage caused by dust or rust. / 7. Damage and defects caused by dismantling the product. / 8. Damage and defects caused by dropping, jolting or other shocks. / 9. Deterioration or failure of parts due to friction. / 10. Damage caused by the use of the product in combination with another manufacturer's products.

Repair

- If professional repairs are required, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service.
- When you request repairs, please make sure that the product is dry and clean.
- Please attach a memo or a tag indicating the necessary repair and please write details of how and when the damage occurred.
- Transportation and repair costs are determined as follows.
 1. Within warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by Snow Peak.
 2. Outside warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by the customer.

Spec

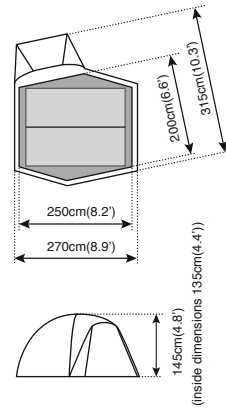
Contents: Fly Sheet, Inner Tent, Ground sheet, Double Cross Frame(x2), Center Frame, Front Chamber Frame, Duralumin Pegs(x16), Flexible Rope, Repair Pipe, Storage Case, Frame Case, Peg Case

Material: Fly Sheet: 20D Silicon Polyester Ripstop, PU Coating 1,500mm, Inner Tent: 20D Polyester Ripstop, Bottom, Ground sheet: 40D Nylon Ripstop, PU Coating 1,500mm, Poles: Duralumin

Carry Bag size: 61×19×23(h)cm / 2.4"×0.75"×0.9"

Weight: 4.3kg / 9.5 lbs

●Capacity: 2 persons



Snow Peak USA, Inc.

404 NW 23rd Avenue, Portland, Oregon 97210, USA
Tel. +1 (503) 461-0781 / Instagram. @snowpeakusa
Email. info@snowpeak.com / www.snowpeak.com

Snow Peak, Inc.

456, Nakanohara, Sanjo-Shi, Niigata 955-0147 Japan
Tel. +81 256-46-5858 / Fax. +81 256-46-5860
www.snowpeak.co.jp

MADE IN CHINA